【生徒数配布】　　カラー版は若中ＨＰにアップしています

南アルプス市立若草中学校 校長室だより No.６ 2021.11.9

大志

〔学校教育目標〕「よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

文責　河西 美代司

ステージバックのお披露目

心洗われる音楽部演奏

「実りの秋」深まる

１１月に入り、日暮れは早く、朝夕は冷え込んでいます。秋の深まりとともにスポーツの秋、文化の秋、読書の秋、食欲の秋などと言われるようにいろんな「秋」を実感することができます。

全体テーマ**『We are 若中　～最高峰への登山道～』**、文化の部テーマ**『infinity　～429 人で未来へ繋ぐ若中 history～』**(infinity：無限）、体育の部テーマ**『共走！　～大きな壁は一人では乗り越えられない～』**の下行われた**第 64 回瑞穂祭**は爽やかな秋晴れに恵まれ、まさしく『**実りの秋**』となりました。

まん延防止等重点措置による延期から、中間テストや教達検、新人戦などの間をぬっての取組と開催で、十分な時間をとることができない中、「工夫と挑戦」を重ねて創り上げたチーム若中の集大成とも言える学園祭でした。

関東出場男子卓球部

呼吸ぴったり長縄跳び

完璧ｱﾝﾀﾞｰﾊﾝﾄﾞﾊﾟｽ

見学もﾏｽｸ＆ﾃﾞｨｽﾀﾝｽで

今年の瑞穂祭は、「体育の部」も「文化の部」も、ぜひとも保護者の皆様にご覧いただきたい。また、「合唱発表会」では他学年の発表を直に聴きたいと生徒会と先生方が何度も話し合い、検討し、場所と流れの工夫で実現することができましました。特に、「合唱発表会」では、午前中を保護者向けの発表、午後は他学年に向けての発表とし、リモート（画面越し）では、伝わらない、各学級の繊細な表現も感じ取ることができたように思います。また、学年合唱の発表は、人数制限により、３学年揃ってではできないため、２日（火）に、結団式の中で、３年生の学年合唱を聴く機会をつくりました。１・２年生ともに、３年生の響き渡る美しい、かつ力強い合唱に大いに心を揺さぶられました。

『瑞穂祭』が、**峡西ＣＡＴＶで放送**されます。**「体育の部」11 日(木)・12 日(金)、「文化の部」13 日(土)・14 日(日)**、いずれも **9:00、12:00、18:00、20:00** からです。また、放送後、**YouTube での限定配信**も行います。詳細は後日お知らせいたします。

【生徒数配布】　　カラー版は若中ＨＰにアップしています

浩美さんとトイレ掃除

東京での９年間の教員生活の後、山梨に戻ってきました。最初の赴任校は、地元大月の猿橋中学校でした。１年A組の担任になり、学級で役員や委員会などを決めていました。班が決まり掃除分担場所を決める時です。教室や廊下、体育館など学級の分担場所６か所を黒板に書きました。掃除の分担場所はローテーションせず、固定にして**その場所の掃除のプロを目指す**というのが私の方針ですから、一度決まると最低２か月はその場所の掃除をしなければなりません。６つの班で掃除場所の争奪バトルが繰り広げられると予想していました。中にはトイレがあり、多くの班から「トイレだけは避けたい」という雰囲気が伝わってきます。ところが、です。学級委員長になった浩美さんが手を挙げ「私たちの班はトイレを希望します」と言うではないですか。その発言に他の班員からは、「えーっ」という声も聞こえます。私も「トイレで良いの？猿橋中のトイレは古いし、あんまりきれいじゃないよ」と確認をします。すると浩美さんは真剣な顔で**「何を言ってるんですか。汚いところをきれいにするのが掃除じゃないですか。一番やりがいがあるじゃないですか」**と言います。私も「あっ、そう・・・」と言うしかありませんでした。勢いに圧倒され班員も同意し、浩美さんの班がトイレ掃除に決まりました。

その日の掃除の時間。トイレを見に行きました。予想通り、浩美さんは顔をつっこむような体制で、便器の内側をスポンジで磨いています。しかも素手で、です。さすがに、「ゴム手袋をしなよ」と声を掛けましたが、「手袋をすると磨きにくいので良いです。手が汚れても洗えば済むことですから」ととりあってくれません。「そうは言っても・・・」。

夕方、浩美さんの家に電話を掛けました。お母さんが出て「良いんですよ。浩美は**家でもトイレ掃除が担当**です。毎日ピカピカにしてくれています。本人が思うようにやらせてください」とおっしゃいます。それから１週間、他の班員も便器を同じように磨き始めました（手袋はしてますよー）。その後、素敵な出来事がありました。トイレのドアに**「トイレがきれいで気持ちいいです。掃除お疲れ様です」**とノートの切れ端が貼ってありました。２か月後、班替えと２回目の掃除分担場所決めです。何と何と、全ての班がトイレ掃除を希望し、大盛り上がりのジャンケン大会に・・・。

１年A組は思いやりに溢れ、温かく、なおかつパワーがありました。合唱コンクールは２・３年生を抑え全校最優秀賞をとってしまいました。とにかく掃除をよくやる学級でした。どちらが先かは分かりませんが、**掃除をしっかりやるからそんな学級になったのか、そんな学級だったから掃除もやったのか・・・**。当然両方を目指すのですが、まずできるのはどちらでしょうか。

浩美さんとは縁があり、３年間担任をさせてもらいました。数年後、結婚披露宴に招待され、祝辞の機会をいただきました。おめでたい席で申し訳ないと断った上で**「トイレ掃除の話」**もさせてもらいました。新婦側の列席者は頷き、微笑んでいました。よく知られた、ごくごく普通の「当たり前のこと」だったようです。対照的に、新郎側では驚きの声があがっていました。

浩美さんは、高校卒業後専門学校に通い、夢であったエステシャンになりました。数年後には八王子市内の数店舗を任される地区のマネージャーにもなりました。結婚し、子育ての間は休職していましたが、会社やお客様から、早く復帰して欲しいといくつも要請があり、今では、自分と家族の時間を何より大切にしながら、週3日の勤務をしているそうです。

「掃除をすれば気付く人になれる」鍵山秀三郎

【生徒数配布】　　カラー版は若中ＨＰにアップしています